

日本ニュージーランド学会 第28回研究大会
公開シンポジウム（オンライン）

「COVID-19とニュージーランド ～政治文化、地域レジリエンス、社会保障の視点から 日本が学べること～」

新型コロナウイルス感染症の拡大は世界各国の人々の命と経済社会に大きな危機をもたらし、日本では政治、地域社会、社会保障制度のあり方が大きく揺らいでいます。一方、ニュージーランドは積極的なCOVID-19対策を講じ、本年5月5日までの累計感染者数は2629人、死亡者は26人とウィルスの「除去」に成功をしており、経済・社会活動への制約もほとんど行う必要のない状態にあります。本シンポジウムでは、ニュージーランドからの特別ゲストを招聘し、オンライン方式により、コロナ禍のニュージーランドから学べることを探ります。

【報告1】 オタゴ大学人文学部歴史学教授 将基面貴巳氏
「コロナ危機への対応に見るニュージーランドの政治文化」

【報告2】 龍谷大学政策学部准教授 石原凌河氏
「コロナ禍のニュージーランドの市民社会と地域レジリエンス」

【報告3】 日本ニュージーランド学会副会長（東北公益文科大学教授） 武田真理子
「ニュージーランドの社会保障制度とコロナ危機」

【ディスカッション】
「COVID-19とニュージーランド～日本社会への示唆～」

日時：2021年6月19日（土）13時～15時半

参加費：無料

申し込み：6月17日（木）12:00までに学会事務局・澤邊
sawabe@koeki-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

※件名に「日本NZ学会公開シンポジウム申込」と記入の上、本文に
①氏名、②所属、③ZOOM IDの送付先となるメールアドレス、
④電話番号を記載し送信して下さい。

問い合わせ先：学会事務局 澤邊まで（上記申し込み先と同じ）

将基面貴巳氏

慶應義塾大学法学部政治学科卒業。英国シェフィールド大学大学院歴史学博士課程修了(PhD)。研究領域は政治思想史。ケンブリッジ大学クレア・ホルのリサーチフェロー、ブリティッシュ・アカデミー中世テキスト編集委員会研究員、ヘルシンキ大学歴史学部訪問教授などを歴任。現在、ニュージーランド・ダニーデンに所在するオタゴ大学人文学部歴史学教授。英国王立歴史学会フェロー。『ヨーロッパ政治思想の誕生』(名古屋大学出版会、2013年)で第35回サントリー学芸賞(思想・歴史部門)を受賞。その他の著作にOckham and Political Discourse in the Late Middle Ages (Cambridge University Press, 2007), Visions of Peace: Asia and the West (co-edited with Vicki A. Spencer, Ashgate, 2014), Western Political Thought in Dialogue with Asia (co-edited with Cary J. Nederman, Lexington Books, 2009)、『言論抑圧 矢内原事件の構図』(中公新書、2014年)、『政治診断学への招待』(講談社選書メチエ、2006年)、『反「暴君」の思想史』(平凡社新書、2002年)、『愛国の構造』(岩波書店、2019年)、『日本国民のための愛国の教科書』(百万年書房、2019年)がある。



石原凌河氏



関西学院大学総合政策学部総合政策学科卒業。大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻修了(工学博士)。研究領域は地域レジリエンス(地域防災、災害復興、持続可能な都市・地域への再生)。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター・リサーチフェロー、立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員、関西学院大学災害復興制度研究所学外研究員などを歴任。現在、龍谷大学政策学部政策学科准教授。共著に『ナラティブ研究の可能性:語りが映し出す社会』(秦かおり・村田和代編、ひつじ書房、2020年)、Depopulation, Deindustrialisation, and Disasters: Building Sustainable Communities in Japan. (Katsutaka Shiraishi, Nobutaka Matoba ed., Palgrave Macmillan, 2019)、『COVID-19 各国における政策と市民ボランティア:イタリア・アメリカ・台湾・ニュージーランド』(斉藤容子・リズマリ・李勇昕、K.G.りぶれっとNo.54, 関西学院大学出版会、2021年)がある。

武田真理子

慶應義塾大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。研究領域は社会政策、公益学、ニュージーランド。東北公益文科大学教授、大学院公益学研究科長。日本ニュージーランド学会副会長。共著に『「小さな大国」ニュージーランドの教えるものー世界と日本を先導した南の理想郷』(論創社、2012年)など、論文に「ニュージーランドにおけるCOVID-19対策と社会保障制度に関する考察」『東北公益文科大学総合研究論集』第38号(2020年7月)など。

